

【中野キャンパス】

「明治大学環境展 ～ECO ACT MEIJI～」

環境に配慮された施設設備の紹介

(1) 省エネ対策施設について

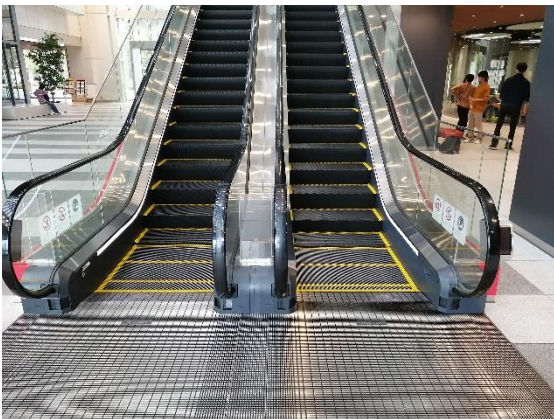
◆ 6種類の分別回収



★リサイクルを促す分別回収

明治大学では、再利用の促進・廃棄物削減のため、ごみの分別回収を行っています。ごみ箱を「もえるごみ」「もえないごみ」「びん・缶・ペットボトル」「コピー用紙」「新聞紙」「雑誌」の6種類に分けて分別の徹底にご協力いただいています。その結果、リサイクルが増え、「もえるごみ」の大幅削減を実現しました。

◆ 1～3階に設置されている人体感知センサ



★省電力に欠かせない設備～自動運転システム～

中野キャンパスには2機のエスカレーターが稼働しています。利用の多くが休み時間に集中するため、エスカレーターには人体感知センサが設置されています。このセンサによって、5分間使用しない状態が続くと自動的に止まる仕組みになっています。

◆ 低層棟屋上に設置されているヒートポンプチラー冷凍機(温水)



◆ 低層棟地下 1 階に設置されているヒーティングターボ冷凍機(冷水)



★蓄熱式空調熱源システム

中野キャンパスの地下には 7 2 0 t もの水が溜まっていることをご存じでしょうか？これらの水は、建物全体の温度調節をするために循環させ、空調機の熱源として使用されています。オフピーク時の夜間電力を利用して、夏は冷水、冬は温水を作って貯めています。貯めた温水・冷水の熱を使った空調によって、日中の建物内部を温めたり冷やしたりしているので、1 日を通して穏やかに電気を使うことができ、日中の電力使用量の抑制にも役立っています。

(2) 中野キャンパスの操縦室「中央監視室」について

◆ 電力・室温・照明の一括管理



低層棟地下 1 階には、中野キャンパス全体の室温調整・電力管理・熱源調整・照明調整等を行う「中央監視室」があります。

「自然換気システム」「蓄熱式空調熱源システム」などはすべて、中央監視室で操作を行っているものです。他にも、雨水の再利用や、廃棄物の分別管理など、中野キャンパス全般の管理を行っています。

ナイトモジュールまでの利用、休日の一般貸出がある場合などの稼働時間も長いので、きめ細かい運用が重要になってきます。そこで中央監視室では、毎日の講義時間割や当日の教室・会議室の利用予定をコンピューターに入力し、授業時間のみ空調機を運転させています。

中野キャンパスは、環境影響に配慮した建物として設計されていますので、中央監視室において、ある程度の管理は可能です。しかし、学生・教職員・来校者等、実際に中野キャンパスを利用する人々の理解と協力がなければ、本来の機能は発揮できません。「利用しない教室を消灯する」、「ごみの分別を徹底する」、「室温変化は衣服で調整する」など、今後も環境に対して継続的なご協力をお願いします。